

第3回ライフサイエンス交流会 in 柏の葉

オープン・イノベーションは ここから始まります。

募集定員
80名

2017年**7月5日(水)**
KOIL スタジオ
16:00~19:10

- 対 象**・中小機構や連携支援機関の
支援先バイオベンチャー企業等
・大学や研究機関の研究者
・その他ライフサイエンス関連ビジネス関係者
- 主 催** (独) 中小企業基盤整備機構関東本部
(一社) TX アントレプレナーパートナーズ
三井不動産 (株)
- 後 援** (予定) 関東経済産業局、千葉県、柏市、
(公財) 千葉県産業振興センター
- 会 費** 懇親会のみ有料 (1,000 円)



岡部 尚文氏

中外製薬株式会社
上席執行役員
研究、トランスレーショナルクリニカルリサーチ管掌

プロフィール

東北大学大学院博士課程修了、東京大学
医科学研究所、東京都臨床医学総合研究所
研究員、エール大学分子生物学科研究員を
経て、1991年に日本ロシュに入社し創薬研究に従事。2002年
に中外製薬と日本ロシュの統合により、中外製薬創薬研究部
長、創薬企画推進部長、研究本部長を経て、2017年より研究
及びトランスレーショナルクリニカルリサーチ管掌。低分子医
薬品及び抗体医薬品創製に従事。

講演内容の概要

革新的な新薬の創出には依然として高い期待が寄せられている
一方、医療費の高騰による薬価の抑制やジェネリックの推奨な
ど、新薬創出の環境は年々厳しさを増している。このような環
境の中、いかに革新的な新薬を創出し続けられるかが、R&D型
の製薬企業に課された課題である。メガファーマのような大き
な規模の R&D 組織を持たない日本企業にとって、規模の小さ
い R&D であっても画期的な新薬を創出する工夫が求められる。
グローバルメガファーマの一員でありながら、日本の製薬企業
として独自の R&D を維持し、画期的な新薬創出を目指してい
る自社の例も紹介しながら、日本の製薬企業にとっての新薬創
出について述べたい。

・主催者代表挨拶 (16:00~16:10)

【第1部】講演 (16:10~17:10)

中外製薬株式会社 岡部 尚文氏
『革新的な医薬品の創出を目指して』

【第2部】プレゼンテーション (17:10~18:00)

ベンチャー企業等事業内容プレゼンテーション
→ 5社 各10分

【第3部】名刺交換会・懇親会 (18:10~19:10)

会場のご案内



つくばエクスプレス「柏の葉キャンパス」駅西口徒歩1分
「秋葉原」駅から約30分・「つくば」駅から約25分

千葉県柏市若柴 178 番地 4
柏の葉キャンパス 148 街区 2

柏市若柴 178 番地 4 柏の葉キャンパス 148 街区 2 ショップ&オフィス棟 6 階

お申込み方法 [✉ tkv-info@smrj.go.jp](mailto:tkv-info@smrj.go.jp)

参加を希望される方は、氏名、所属団体、役職、電話番号、
メールアドレス、懇親会参加の有無を事前にご連絡ください。

いただいたデータは、申込の確認やスケジュール詳細の連絡、
当日配布する参加者名簿の作成など、本事業の運用の目的外
には使用いたしません。

締切: **6月28日(水)**